

Ⅱ 拠点館事業

令和3年度 市直営事業実績

1 地域づくり支援

市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組みができるよう、地域の身近な社会教育施設として、多様な学習の機会を創出するとともに、市民の主体的な学びを支援し、学びを通じた人づくりに取り組んでいる。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

若者が地域づくり活動への参加や様々な人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に活動することを学ぶ事業である。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	15	112	(実施せず)	高校生・短大生・大学生
宮城野区	20	124	(実施せず)	高校生
若林区	21	75	222	大学生・社会人等
太白区	21	67	(実施せず)	大学生・高校生
泉区	8	71	(実施せず)	大学生

① 若者によるまちづくり実践塾

<青葉区中央市民センター>

若者自身が地域課題を発見し、その調査・分析を行い、自分たちの取組を発信することで、「若者がまちづくりに関わっていく」という事業のねらいを達成することができるように取り組んできた。令和2年度は、コロナ禍により当初に予定していた活動ができなくなったため、参加者自らが事業のねらい等を再度設定し、方向転換を図った。若者の視点で青葉区の魅力を再発見することを目的に、全6回のフィールドワークを行い、それらを動画にまとめてYouTubeの「仙台市市民センターチャンネル」で発信した。

令和3年度は、テーマを「若者視点による青葉区の魅力発信」とし、全6回のフィールドワークを行い、収集した地域情報をまとめたマップや動画を制作した。受講者が、自ら訪問先を選定し様々な人々への取材を行ったり、活動を通して得られた地域資源などの情報を発信するためにまとめたりする過程で、身近な地域に対する興味・関心の高まりや、「まち歩き」という新たな視点の獲得や視野の広がりを、自己の成長として実感できる事業となった。参画の度合いとしては、マップや動画の制作にも主体的に取り組むなど、事業担当者の支援の下、ほぼ若者主導による形で実施することができた。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

<宮城野区中央市民センター>

令和3年度は、「沿岸部」や「仙台駅東エリア」等、区内にある地域の魅力を取材し、Web

記事の制作・発表を通じて、①様々な人々と協働し、身近な地域をより良くすることへの関心を高めること、②社会・地域の一員として、自発的・主体的に行動できる人づくりを行うことを目標に取り組んだ。

若者が興味・関心を持った仙台うみの杜水族館、JICA 東北、榴岡地域包括支援センター、びすた〜り榴ヶ岡、八木山動物公園、CAFÉ DE MERCI の取材を自ら行い、仙台市市民活動サポートセンターや住民参加型ニュースサイト「TOHOKU 360」等と連携し、Web 記事を作成した。また、次年度の仲間募集につなげるため、まいぷろの活動をわかりやすく紹介したリーフレット制作にも取り組んだ。

これらの活動を通じて、自らの思いを表現する力やコミュニケーション力が養われたほか、地域の活動に触れることにより、コロナ禍における自分たちなりの地域貢献のあり方について考える機会となり、参加者の視野や関心に広がり生まれた。

③ 仙白園プロジェクト・人

<若林区中央市民センター>

大学生を中心とした概ね 20 代の受講者が、地域のために何ができるかを考えながら、地域を活性化させる活動を行っている。

仙白園と名付けた畑での活動を続けながら、若林区のことをもっと詳しく知ることにした。その中で、若林区のよさや魅力、課題などを探した。若林区で活躍する方々の話を聞いたり、ビーチクリーンや地域清掃をしたり、オリジナルサイダー（仙台・絆サイダー）販売を行ったりしながら、そこから気付いたことや学んだことを元に社会貢献や地域貢献といった、アウトプットの活動につなげた。サイダーの売上金は、東日本大震災で甚大な被害を受けた六郷東部地区の交流やにぎわい再生を願って活動している「わたしのふるさとプロジェクト」主催の「鎮魂の花火」の打ち上げ費用として寄付した。

④ 仙台学生ネットワーク事業「つながりんぐ」

<太白区中央市民センター>

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見を受けて、本事業を平成 26 年に立ち上げ、活動する学生のネットワークを「つながりんぐ」と名付けて活動をスタートした。

令和 3 年度はコロナ禍において学生のネットワークを広げるのは難しく、「つながりんぐ」の主力メンバーである東北工業大学環境サークル「たんぽぽ」の学生を中心に活動した。①「おりぎの家（地域食堂）」支援プロジェクト②FMたいはくラジオプロジェクト③交流フェスタ（市民センター祭り）プロジェクトの 3 つのプロジェクトを立ち上げ、長町エリアの活性化を目指して活動に取り組んだ。

長町商店街を取材して自らのアナウンスにより FMたいはくで放送するとともに、取材を基にして制作した商店街マップを交流フェスタで掲示した。「おりぎの家」については、地域食堂の取組を取材し、FMたいはくで放送して活動の支援を行った。これらの活動を

通して長町エリアの魅力発信と課題提示の一助となるなど、社会的波及効果も得ることができた。

また、活動対象を長町エリアに絞ることで「自分たちの活動で地域を盛り上げる」という意識を高めるとともに、活動と話し合いを積み重ねることでメンバー同士が長町の課題を共有し、3つのプロジェクトに横断的に取り組むことができた。

⑤ ICP Izumi Community Project

<泉区中央市民センター>

泉区内に通学している大学生を中心とした受講生が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施する事業を行った。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン開催を行うなどしながら、おおよそ月1回のペースで定例会を実施した。地域課題を見つけ、行動に移していく中で、自分たちも成長していきたいという思いを込め、「地域を見つめ直して～Act and Grow～」という年間活動テーマを設定し、若者向けの泉中央地区マップを作成することにした。課題解決までのプロセスを重視し、事業の目的を丁寧に確認しながら、マップ作成に向けた話し合いやフィールドワークを中心に活動を進めた。

コロナ禍でなかなか思うような活動ができない中でもICTやSNSを活用し、参加者同士のコミュニケーションを図りながら、自主的に活動する場面が多かった。フィールドワークを実施した際は、新たな発見と課題認識を新たにする姿が見られた。また、広報活動として参加者がInstagramやFacebookを活用し、自分たちの活動に関する情報発信を行った。SNSを活用し、情報発信のターゲットを若者に焦点化したことで、新規参加者の獲得につながった。

⑥ 「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援

<生涯学習支援センター>

(ア) 方向性を確認する会

(R3/4/15(木)15:30～17:15 参加者：各区中央市民センター事業担当者等15名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、今年度の実施予定事業についての情報交換や、今後の事業展開の見通しについて意見交換を行った。

(イ) 若者事業参加者交流会

(R3/7/3(土)14:00～16:00 参加者：各区若者事業参加者10名)

TOHOKU360編集長の安藤歩美氏を講師に迎え、「情報収集・発信のコツ」について学んだ。また、参加者が各区の事業紹介や、若者事業についての思い・考えを発表し合うことを通して交流した。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

各区中央市民センターのコーディネートのもと、住民と市民センターの協働により地域課題を発見し、その課題解決への取組みを学び、実践する事業である。

平成 23 年度から実施しており、地区市民センターとも共催しながら事業を展開している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	107	529	2,286	宮城西 18, 落合 12, 大沢 18, 吉成 20, 折立 39
宮城野区	53	263	271	榴ヶ岡 20, 田子 7, 幸町 7, 岩切 19
若林区	37	149	180	六郷 17, 若林区中央 3 沖野 17
太白区	49	267	177	太白区中央 10, 山田 15, 茂庭台 10, 富沢 14
泉区	107	408	349	泉区中央 11, 根白石 9 南光台 6, 加茂 4, 松陵 54, 桂 11, 南中山 12,

① 地域元気クラブ

<青葉区中央市民センター>

受講生が講座を通じて得た学びやネットワークを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域活性化のための企画を提案・実践していくことを通し、地域を元気にするノウハウについて学びを深めることができた。企画する事業への参加者が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体と連携する機会が増えたりするなど、地域づくりにつながるネットワークの構築が進んでいる。

大倉ダムの魅力発信事業「鯉のぼり×大倉ダム」(宮城西市民センター)は、5月1日から5日まで、大倉ダム下公園を会場に開催した。会場の賑わいづくりのために計画していた様々なイベントは、コロナ禍のために実施することができなかったが、今年度制作したのぼり旗を会場とその周辺に配置した。

ふるさと落合栗生地元塾(落合市民センター)では、落合栗生地区の史跡等を紹介する総合案内板を作成し、JL陸前落合駅前に設置した。また、案内板を含め運営委員会の活動内容や成果を周知するチラシ・ポスターを作成し、地域の情報発信に努めた。

国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力再発見(吉成市民センター)では、仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」で活動しているNPO法人「珀杜(はくと)」と合同の自然観察勉強会を行い、学びを通して連携を深めた。また、沖縄県で活動する「八重瀬町ガイドの会」とオンラインを活用して研修会を行い、ガイドの手法や具体的な団体の運営方法などを学んだ。

折立素敵物語「ライトアートin折立」(折立市民センター)では、会場の装飾にこれまでのペットボトルランタン・イルミネーションライトでの装飾に加え、新たに「ピカボード(LED発光ボード)」の制作に挑戦した。折立地域に関するキャラクターなどを描いた作品の他、開校50周年の節目の年を迎えた折立小学校の全校児童が制作に携わることができた。また、折立中学校の生徒が企画員としてミニランタン作りワークショップとクイズラリーを行い、イベントをさらに盛り上げた。

大沢・川前地域交流ネット「あがれ!天旗」(大沢市民センター)では、例年行ってきた凧作り教室は、対面での実施が難しくなったため、材料と説明書をセットにした凧作製キットを配布し、作り方をまとめたYouTube動画を制作し、それを見ながら各家庭で凧作りを行えるようにした。当日は手作りの凧を持ち寄って、90名近く参加した。

② 地域の魅力発信プロジェクト

<宮城野区中央市民センター>

榴ヶ岡市民センター、田子市民センター、幸町市民センター、岩切市民センターと連携しながら、住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域の課題や将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

「東口ゆうえんち」(榴ヶ岡市民センター)は、子どもが安全に遊ぶことのできる機会や場を提供することを目的に、社会人や大学生のボランティアスタッフが集まって運営されている事業である。令和3年度は、「ウォーターバトル」「榴岡公園クエスト」「東口特撮工房」を企画した。実際に参加者を招いて開催できたイベントは「榴岡公園クエスト」のみであったが、地域素材を生かして多世代の交流が行われた。

「田子今昔物語」(田子市民センター)では、令和2年度に作成したリーフレットを活用し、企画員が講師となって一般参加者に向けた福田町界隈のまち歩きを開催した。また、田子中学校の1年生の地域学習の講師を企画員が担当し、地域の歴史と魅力について語ることで次世代に伝える役割を果たした。

「柘江の森 魅力発信プロジェクト」(幸町市民センター)では、企画員が森の達人を目指しながら、柘江の森の魅力を発信するために、森に関連したイベントの企画・運営・報告を行っている。令和3年度は、企画員が中心的な役割を担い、森の達人として「柘江の森の散策会」と「森のワークショップ」を開催した。柘江の森の動画を制作して公開したことに加え、ラジオ番組やニュースサイトで活動が取り上げられることもあり、地域の魅力を広く発信することができた。

「子どもの広場(居場所)づくりボランティア」(岩切市民センター)では、子どもの遊びや体験を支え、子どもを見守るネットワークづくりを目指し、5月から12月にかけて毎月1回「子どもの広場」を開催している。令和3年度は、チーム名を「岩切子どもの広場ボランティア」と決め、一層の一体感を持って活動することができた。今後もボランティアの方々の思いの共有化を図り、岩切地域の団体間の連携を強めていくこととしている。

③ わたしのふるさとプロジェクト 等

<若林区中央市民センター>

各地区館と共催して、地域住民が課題と向き合い解決を目指す取り組みを支援した。

「わたしのふるさとプロジェクト」(六郷市民センター)では、東日本大震災以来、六郷東部地区の復興をテーマにコミュニティやにぎわいの再生に向けた活動に取り組んできた。令和3年度は、定例会を毎月開催し、話し合いを進めた。東六郷小学校跡地に完成した「東六郷コミュニティ広場」を活用した「東六郷コミュニティ広場オープニング ミニステージ」は、コロナの感染拡大防止の観点から中止とした。「ふるさとにつどう鎮魂の花火」は、交流会を中止して花火の打ち上げのみを東六郷コミュニティ広場周辺で行った。定例会の中で、意見交換や震災の被災者の声を聴く学習会を行うなど、改めて地域を見直す機会となった。

親子で活動する機会や親子同士が交流する機会を設けた「こどもイベントを考えよう」(若林区中央市民センター)では、地域のコミュニティづくりとSDGsの意識醸成にも寄与できる「ザツがみであそぼう」を企画員が企画・実施した。イベント名「わかちゅうワケあり雑がみ部ザツがみであそぼう」では、未就学児から小学生までの児童とその保護者10組30人が集まり、クリスマスをテーマに作品作りを行った。

絵本や紙芝居による地域貢献を目指す「読み聞かせボランティア講座」(若林市民センター)では、読み聞かせを通して地域活動へ参画していくことをねらいとし、参画者自身が読み聞かせのスキルアップとともに講座の企画・運営を行った。コロナ禍でも、学びを実践につなげるために、アクリル板の設置やハンズフリー拡声器を使用するなど、対面でも安全かつしっかりと伝えるための対策を考えながら事業を実施した。

④ 太白おとなのチカラ

<太白区中央市民センター>

太白区中央市民センター(拠点館)の「太白おやじネットワーク事業」では、太白区内各小中学校に在籍する児童・生徒の保護者を中心に構成する通称「おやじの会」の活動を支援することにより、若い世代の地域づくり活動への参画機会の充実と地域づくり活動の活性化を図る取り組みを進めている。

令和3年度は、太白区内のおやじの会ネットワークと、太白区中央市民センターの共催事業として毎年取り組んでいる、主に小学生を対象としたスポーツイベント「太白みんなdeスポフェス」の開催を前提として協議を進めた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で子どもを対象とした大規模イベントの開催は困難と判断し中止とすることとなった。一方、このような中でも、次年度以降の活動の持ち方の意見交換会や情報交換会を3回企画し、うちオンライン会議を1回、対面での会議を1回実施することができ、次年度以降の活動再開に向けて、これまで築いてきたネットワークの関係を維持することができた。

また、区内地区館3館と共催し、地域課題解決につながる活動に取り組んできた。山田市民センターの「楽元の森プロジェクト」、茂庭台市民センターの『「みんなの広場」プロジェクト』、富沢市民センターの「パワフルとみざわネットワーク」は、これまで積み重

ねてきた実績を基に、コロナ禍でもできることを知恵を出し合いながら検討し、引き続き事業を実施した。

⑤ 地域いきいきプロジェクト

＜泉区中央市民センター＞

区内地区館7館との共催により、区拠点館として事業の実施・運営に関する助言、事業成果の情報発信等を行い、地域特性に応じながら住民と各地区館職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動の実践を推進した。

令和3年度は、松陵市民センターで、パンフレット作成と配布で地域活動団体の交流や活動の活性化を促す「松陵の丘つながるプロジェクト」を始めた。

コロナ禍でも地域住民の交流の機会を創出するため、桂市民センター「かつら情報局」では、地域での情報伝達方法のIT化と地域住民の交流を目指しLINE講座を開催した。根白石市民センター「かむりの里いきいきプロジェクト」では、地域資源を活用し「お寺でヨガ・坐禅」講座を開催し交流の機会を創った。南光台市民センター「みせましょう！おやじの力」では、小学生対象に「やってみよう！フットゴルフ」を開催し、子どもたちの交流の機会を創った。

加茂市民センター「エンジョイ加茂ン」では、リーフレット「加茂四季めぐりマップ」が完成し、地域住民に配布したところ、感謝の手紙が届くなど大好評を博した。南中山市民センター「いずみ中山ふれあいプロジェクト」でも、マップ作りに向けて継続的に事業を実施している。

泉区中央市民センター（地区館）「いずみ探訪～地域案内人養成講座」は、地域の史跡の模擬案内看板を作成して発表会を行うなど、複数年事業2年目ということで、人材育成に向けたより実践的な内容を実施した。

⑥ 「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の担当者を対象とした研修会等を実施し、各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会①

(R3/4/13(火) 15:30～17:15 参加者：各区中央市民センター事業担当者等 19名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、今年度の実施予定事業についての情報交換や、今後の事業展開の見通しについて意見交換を行った。

(イ) 方向性を確認する会②

(R3/7/15(木) 14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 15名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業の取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) パンフレットの発行

市民や関係機関に向け、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のため、令和4年3月に発行した。1,500部作成し、市民向けに市民センター等に配架するとともに、市内各小中学校にも配布した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業である。

平成23年度から実施しており、各区中央市民センターを中心に、地区市民センターとも共催しながら事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	47	273	142	幼児, 小・中学生, 高校生
宮城野区	47	556	235	小・中学生, ※大学生
若林区	26	191	(実施せず)	小・中学生
太白区	23	105	(実施せず)	小学生
泉区	12	73	52	小・中学生

※宮城野区の大学生はアシスタントとして参加

① 地域盛り上げ隊

＜青葉区中央市民センター＞

3つの地区館と拠点館である青葉区中央市民センターで事業を実施している。

広瀬市民センターでは「カッパダ川で地域交流」を実施した。広瀬地区・愛子地区・錦ヶ丘地区の交流を目的に、「カッパダ川ダンス部」を立ち上げ、地域に流れる「カッパダ川(千代老堀)」をテーマにしたダンスの練習に取り組んだ。コロナ禍により地域のまつり等での発表の機会は減ったが、ダンスをYouTubeの市民センターチャンネルで発信することで、活動の周知を図ることができた。本事業を通して、参加者自身が地域への愛着を持ち、地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする心情も育ってきている。受講者がボランティア活動に参加したり、ジュニアリーダーに登録したりするなど、社会参画に資する人材育成の基礎づくりが進んでいる。

青葉区中央市民センター(地区館)では、合築する東二番丁小学校から参加者を募集し、「東二小やる気キッズ」を実施している。メンバーの興味・関心に基づき、「地域が元気になる活動」を考え、参加者自身が主体となって事業を展開している。活動を通して、参

加者が様々なものの見方や考え方を学び、地域に対する思いを高めることを目指している。令和3年度は「おばけやしき&スポーツゲーム」を企画・運営し、異年齢間の交流や自己肯定感の向上につながっている。

木町通市民センターでは、木町通小学校、第二中学校の児童・生徒から企画員を募り、「北三番丁公園で遊ぼう！」を実施した。子供たちがのびのび遊べる場を作ることを目的に、地域資源である北三番丁公園を活用した謎解きイベント「北三クエスト～館長をすくえ！～」を企画・運営した。地域のボランティア団体と連携してイベントを実施することで、世代間交流を図ることができた。

また、拠点館である青葉区中央市民センターにおいては、「青陵インパクト」を実施してきた。小学生が地域での活動に目を向け、将来、主体的に地域で活躍できる人材に育つことを目指し、仙台青陵中等教育学校の中学生・高校生のメンバーがカードゲームを制作し、活用を図った。令和3年度は、学校がある地域に住む小学生を対象としたイベントの企画・運営も行った。本事業への参加者は、カードゲーム企画・制作やイベントの実施を通して地域活動への興味・関心が高まり、意欲的にこの事業に取り組んでいる。

なお、拠点館ではこの他にも、区内の小・中学生から「あなたのまちの『すてき』を絵・川柳にしよう！」を募集し、令和3年度は絵画70点、川柳194点の作品が集まり、小・中学生の地域への関心の高まりがうかがえる。

② 宮城野区子ども参画プロジェクト

<宮城野区中央市民センター>

2つの地区館と共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げた。子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりとなった。

宮城野区中央市民センター（地区館）では、原町小・宮城野小・東宮城野小児童を対象とした、「キッズもりあげ隊」を実施している。令和3年度は11人で活動し、地域を盛り上げるために何ができるかを子どもたちが考え、様々な取組を行った。原町商店街の方や、各小学校の先生方のサポートをいただきながら月1回ぐらいのペースで地域のために活動した。なお、若者同士のつながりや新たな活動の機会づくりのため、毎回、まちづくりや子どもたちの活動に関心のある大学生もスタッフとして参加し、子どもたちの活動支援を行っている。

鶴ヶ谷市民センターでは、中学校の部活動顧問やスーパーバイザーと連携し、鶴ヶ谷中学校美術部の生徒が主体となり、「つるっこ画樹園～実れ！鶴心!!～」を実施した。地域の魅力的なスポットを透明水彩画で表現し、「杜の美術サード展」を中学生たちが企画・運営した。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

<若林区中央市民センター>

子どもたちに地域でのボランティア活動の機会を作ったり、子ども自身が「地域のためにできること」を企画・実施する活動をしたりすることで、自分の存在の大切さを実感す

るとともに、将来、社会・地域にその一員として積極的に関わることができるようにしていく事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1,2回活動しており、令和3年度は、ポイ捨て防止ポスター制作、地域清掃、沿岸地域での育樹会や深沼ビーチクリーンへの参加、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書き、地域を元気にするチャボ！ダンス練習などの活動を行った。

④ たいはくキッズリーダー育成事業

<太白区中央市民センター>

「エフエムたいはくキッズ情報局2021」は、西多賀市民センターとの共催により、近隣小学校3校から参加児童を募集して地域の魅力を取材し、シナリオを作成して、エフエムたいはくのラジオで発信するという事業内容である。令和3年度は地元にある「亜炭坑跡」について地域の方にお話聞いたり、現地を取材したりしてラジオ収録するなど、全5回の活動を行った。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組制作を通して、地域の良さを再発見することができ、自分たちの地域をもっと調べて発信したいという意欲につながった。

令和3年度より新たにスタートした「ぼくらの長町黄援隊！」は、主に長町エリアの小学校6校から参加児童を募集し、仙台89ERSと協力して地元長町と仙台89ERSを元気に盛り上げる活動を行う事業内容である。コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた活動の多くが制限されてしまったが、試合観戦に来た観客の皆さんに長町と仙台89ERSを応援するメッセージをフラッグに書いてもらったり、仙台89ERSのスタッフの一員として笑顔で会場を盛り上げたりすることができた。活動を重ねるうちに「長町を盛り上げていきたい」という意欲が深まり、主体的に活動する姿が見られるなど、将来の地域を支える担い手を育む一助となった。

⑤ 子どもまちづくり企画室

<泉区中央市民センター>

南光台市民センター「元気なまちづくり応援団」と、松森市民センター「子ども企画会議」とが連携し、区拠点館として事業の実施・運営に関する助言、事業成果の情報発信等を行い、地域を舞台とした子ども参画型社会創造支援事業を推進した。

南光台市民センターでは、平成30年度以来継続して子ども参画型社会創造支援事業の趣旨を踏まえた事業を行ってきた。4年目となる令和3年度は、パラリンピックで注目された「ボッチャ」などのニュースポーツを取り入れた「南光台オリンピック」を企画した。当日は、地域の大人たちと子どもたちがチームを組んで種目に臨んだことで地域住民同士の交流が促されたとともに、企画員たち自身が開閉会式やゲームの進行、受付などを運営したことで、地域活動への自信をつけた。

松森市民センターで実施した「子ども企画会議」は新規事業で、松森小学校・鶴が丘小学校の児童が、小学生の異学年交流を促すイベントとして、ドッジビーなど様々な種目で得点を競う「ゲーム大会」を開催した。企画員は、種目を考えたりイベント当日のチーム

リーダーを務めたりする中で、自主性や積極性や身に付いた。また、本事業は鶴が丘児童センターと共催し、市民センター職員と児童センター職員が企画段階からイベント当日まで役割を分担したことで、円滑な運営ができたとともに両施設の連携促進につながった。

⑥ 「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の担当者を対象とした報告会等を実施し、各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会①

(R3/4/13(火)15:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 19名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとに情報交換を行い、今年度の事業展開について見通しを持つことを目的として実施した。

(イ) 方向性を確認する会②

(R3/6/17(木)14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 14名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、情報交換と地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより、事業内容をブラッシュアップし、効果的な事業展開を推進することを目的として実施した。

(ウ) リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のため、令和4年3月に発行した。事業に参加している子どもの声を取り上げるなど、学校教職員など子どもと関わる方々の理解が得られるような内容として2,000部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校、さらに本年度から各小中学校のPTAにも配付した。



(4) 仙台市市民センター市民参画型事業成果報告会「未来はみんなの手の中展」

＜生涯学習支援センター＞

市民センターにおける主体的な生涯学習活動に対する市民の関心を高めるため、せんだ

いメディアテークを会場に、市民参画型事業を中心とした、各市民センターの特色ある取組をポスターや映像で紹介した。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策により、ステージ発表を映像による発表に変更（後日 YouTube 仙台市市民センターチャンネルで限定公開）したことに加え、講評についても、同チャンネルを利用したオンデマンド形式に変更して実施した。また、展示ポスターについては、市民センター全館で作成し、ホームページ上特設サイトにて、全ポスターを公開し、会場に足を運ぶことが難しい状況でも閲覧ができるようにした。

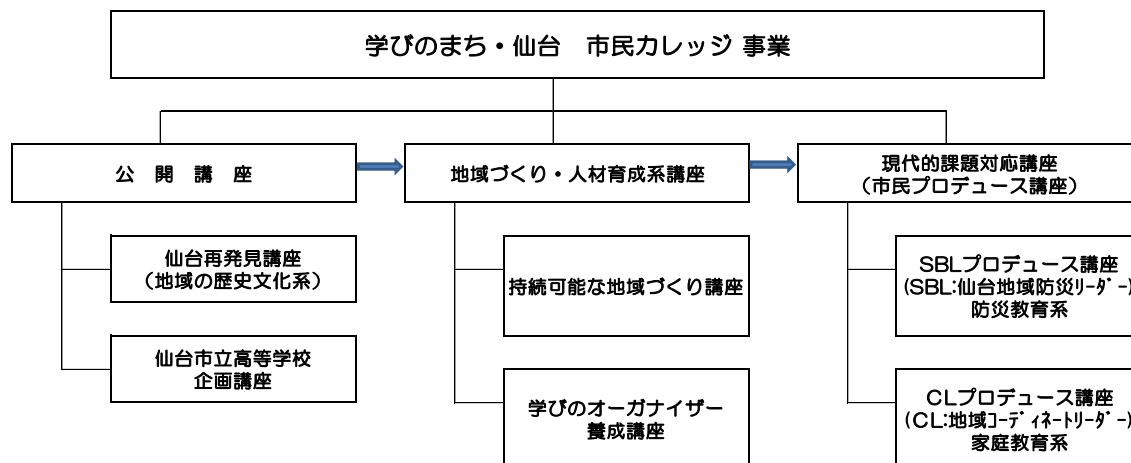
開催日：令和4年1月29日(土)、30日(日)

参加者：市民85名 市民センター職員68名 行政・教育関係職員73名

(5) 学びのまち・仙台 市民カレッジ事業

<生涯学習支援センター>

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、地域資源や地域課題、現代的課題等をテーマに、専門的で質の高い学習の機会を提供することで、地域づくりを牽引する人材の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。



① 公開講座

(ア) 仙台再発見講座 3回連続講座

仙台の従来気付かなかった側面を改めて見出すことを共通テーマに、歴史、文化、仙台の原風景等それぞれの専門家による講座を実施した。

回	開催日	概	要	受講者
1	5/15(土) 14:00～16:00	講話「仙台の台所―食材から見た伝統野菜と仙台朝市」 株式会社今庄青果 代表取締役社長 庄子 泰浩 氏		40
2	5/29(土) 14:00～16:00	講話「仙台の和菓子～仙台駄菓子を中心にしたなつかしの味」 東北民俗の会 会長 佐藤 敏悦 氏		39
3	6/5(土) 14:00～16:00	講話「仙台の大地の歴史～火山活動が仙台を変える」 東北大学東北アジア研究センター 助教 宮本 毅 氏		39

(イ) 市立高等学校教員による企画講座

仙台市立高等学校の教員を派遣してもらい、市民向けの実学的な講座を開催する。「高等学校開放講座」事業と連動して行う。(p. 37「高等学校開放講座」参照)

② 地域づくり・人材育成系講座

地域づくりに関する専門性を高める学習の場を提供することで、身近な地域をより良くするため主体的に行動するとともに、中核となって地域を支える人材の育成を図る。

(ア) 持続可能な地域づくり講座

持続可能な地域づくりに関する学びを提供することで、受講者が、現代的な課題を受講者自身の事として捉えようとする意識を醸成することをねらいとして実施した。

回	開催日	概 要	受講者
1	6/12(土) 14:00～16:00	講話「私たちが望む未来—The Future We want—」 (一社)日本キリバス協会 代表理事 ケンタロ・オノ 氏	31
2	6/26(土) 14:00～16:00	講話「未来に残そう地域の魅力～地域おこし協力隊での取組から～」 宮城県地域おこし協力隊 竹田 よしひろ 氏	28
3	7/10(土) 14:00～16:00	講話「持続可能を目指したものづくり～アップサイクルをとおして～」 株式会社 WATALIS 代表取締役 引地 恵 氏	28

(イ) 学びのオーガナイザー養成講座

地域の活動に参加するために必要なスキルを身に付けるとともに、自分の良さや強みを知り、それらを生かしながら地域で主体的に活動しようとする人材を育成することをねらいとして実施した。

回	開催日	概 要	受講者
1	10/13(水) 18:30～20:30	講話「自分の強みを知ろう！～コミュニケーションカードの活用～」 (株)アライブ・ワン 代表取締役 後藤 美香 氏	23
2	11/10(水) 18:30～20:30	講話「自分と仲良くなろう！～セルフペップトーク～」 日本ペップトーク普及協会認定講師 大場 充 氏	20
3	12/8(水) 18:30～20:30	講話「伝えたいことを伝える」～アサーティブコミュニケーション～」 キャリアコンサルタント 浅利 賀名衣 氏	14
4	1/12(水) 18:30～20:30	講話「初対面の人・苦手な人と関わるコツ ～第一印象アップマナー&アンガーマネジメント～」 第一印象研究所 代表 杉浦 永子 氏	14
5	2/9(水) 18:30～20:30	講話「自分の新しい可能性を広げるために～自分トリセツづくり～」 (株)アライブ・ワン 代表取締役 後藤 美香 氏	11

③ 現代的課題対応講座（市民プロデュース講座）

市民センターの講座等の受講生や市内で活動する団体等が、身近な地域をより良くするために、学びや専門性を生かして講座の企画やコーディネートを行い、他の市民とともに専門的な講話やワークショップから学ぶ。前年度に続き、仙台市地域防災リーダー（SBL）、学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーター等の地域コーディネーター（CL）の企画・運営による講座を実施した。

(ア) SBLプロデュース講座 「防災・減災講座」 5回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	10/23(土) 14:00～16:30	講話「マイ・タイムライン」 元 国土交通省下館河川事務所長 里村 真吾 氏	51
2	10/30(土) 14:00～16:30	講話「今からできる感染対策ABC」 東北大学災害科学国際研究所 教授 児玉 栄一 氏	45
3	11/6(土) 14:00～16:30	講話「あなたの地域の危険区域を知ろう」 特定NPO 防災士会みやぎ 理事長 児玉 敏幸 氏	42

回	開催日	概 要	受講者
4	11/20(土) 14:00～16:30	講話「子どもたちを支え続けて～雄勝中学校の実録から～」 元石巻市立雄勝中学校校長 佐藤 淳一 氏	44
5	12/3(土) 13:30～15:00	講話「改めて、防災・減災について考える」 東北大学災害科学国際研究所所長 今村 文彦 氏	45

(イ) CLプロデュース講座 「子どもの『こころ』のアレやコレ」 2回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	11/26(金) 10:30～12:00	講話「子ども時代とは —子どもはなぜ大人と違うのか 健やかな成長のために必要なこと」 仙台幼児保育専門学校 猪岡 久子 氏	17
2	12/4(金) 10:30～12:00	講話「やる気のもと。」 個別教室のアップル・家庭教師のアップル 代表 畠山 明 氏	28

2 広域規模の学習支援

(1) 高等学校開放講座

<生涯学習支援センター>

高等学校の持つ教育機能を生かし、市民の生活上・職業上の専門知識・技能及び一般教養の修得を図る。【昭和 51 年度開始 市立高校 5 校・5 講座、受講生 39 名、延 78 名】

学校名	講座名	内容	実施日	受講者
仙台青陵中等教育学校	オリジナルカレンダーを作ろう！	画用紙やカードにペーパークイリングで飾りを付けて、オリジナルのカレンダーを作る。	7/29(木)～ 7/30(金)	5
仙台大志高校	数学で遊ぼう！	パズルやトランプを用いて、ゲーム感覚で遊びながら数学を学ぶ。	7/29(木)～ 7/30(金)	7
仙台高校	木製スプーンの制作	木材を彫りだしてオリジナルのスプーンを作る。	7/31(土)～ 8/1(日)	7
仙台工業高校	手作りミニフォトブックを作ろう！	自分で撮影したスマートフォンやデジタルカメラの写真データから手作りフォトブックを作る。	9/19(日)～ 9/20(月)	3
仙台南商業高校	表計算入門『エクセル基礎講座』～表計算ソフトを基礎から学ぶ	エクセル 2019 を使って、表計算ソフトの基礎や、関数の利用、いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ。	11/20(土)～ 11/21(日)	17

(2) 若い青年教室

<生涯学習支援センター>

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として、学習機会を提供する事業を行った。【昭和 45 年度開設、令和 3 年度末教室生 30 名】

主な活動内容	実施回数	延参加者
6/13 (日) 開講式・映画鑑賞会 7/18 (日) コース別活動①・七夕飾り作り 10/17 (日) 秋のハイキング 11/14 (日) コース別活動② 12/12 (日) クリスマス会 各回とも青葉区中央市民センターを会場に開催した。 ※年度当初は年8回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のため、1/23(日)、2/13(日)の活動を中止した。また、1回の活動時間について、従来午前10時から昼食をはさんで午後3時頃までとしていたところ、短縮して正午終了とした。	5	97

(3) 仙台明治青年大学

<生涯学習支援センター>

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齡学園等を修了した 61 歳以上の高齢者が「生きがいと自己実現」を図ることを目的として、学習会などを自主運営により開催している。同期会やクラブ活動、ボランティア活動も盛んに行われている。本学は昭和 41 年に開設され、令和 4 年度に創立 56 周年を迎える。

(年度別在籍者数の推移)

年 度	H29	H30	R 元	R2	R3
新入生数	78	74	68	60	55
在籍者総数	806	821	824	807	800

(主な活動)

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1 回あたりの平均出席者数は 346 名であった。文化芸能、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。年度当初は年 20 回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のため、3 回の開催を中止した。	19	6,576
式典	令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で入学・開講式は中止し、修了・閉講式は規模を縮小して開催した。	-	88
大学祭	クラブ活動等の発表の場として、楽楽楽ホールと生涯学習支援センターを会場に 2 日間計画していたが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大学祭は中止し、学習会に切り替えた。	-	-
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	-	-
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館、児童養護施設等で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請に対応した。	-	-

(4) 仙台自主夜間中学

「仙台自主夜間中学」(主催：仙台自主夜間中学(「仙台に夜間中学をつくり育てる会」から令和 3 年 5 月に名称変更))を仙台市教育委員会との共催事業と位置付け、一部会場の提供、チラシ配布による広報支援等を行った。

第 1・3 水曜日 昼間部開講 17 回 (会場:仙台市市民活動サポートセンター)

第 1・3 水曜日、第 2・4 金曜日 夜間部開講 30 回 (会場:生涯学習支援センター)

参加者延数 1,130 人 (生徒 485 人 スタッフ 580 人 見学等 65 人)

令和 4 年 3 月末実数 生徒 49 人 スタッフ 37 人

3 人材育成

(1) 職員研修（学びを支える人材育成推進事業）

<生涯学習支援センター>

市民センター全 60 館ならびに 19 箇所の社会教育施設等の職員が、生涯学習事業の推進に必要な知識や考え方を深められるようにするとともに、社会の変化や市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、積極的に市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるようにする。

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員（博物館，科学館，図書館，天文台，大倉ふるさとセンター，オーエンス泉岳自然ふれあい館，仙台ひと・まち交流財団，仙台市市民文化事業団 5 施設） ・関係課職員 	<p>◇社会教育施設等新任職員研修【全 1 回】 5/20（木）15:00～17:00 ◎講話「社会教育職員に求められるもの」 放送大学宮城学習センター 所長 高橋 満 氏</p>	72
		<p>◇社会教育施設等職員資質向上研修【全 3 回】</p> <p><第 1 回> 7/2（金）14:00～17:00 ◎講話「学習支援者としてのあり方」 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 准教授 佐藤智子 氏 ◎グループワーク</p> <p><第 2 回> 10/7（木）14:00～17:00 ◎講話「社会教育と評価の方法」 特定非営利活動法人 教育支援協会 代表理事 吉田博彦 氏 ◎グループワーク</p> <p><第 3 回> 12/2（木）14:00～17:00 ◎講話「学びのオーガナイザーとしての役割」 文教大学 准教授 青山鉄兵 氏 ◎グループワーク</p>	40 29
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 	<p>◇市民センター新任職員研修【全 1 回】 5/25（火）14:00～17:00 ◎講話 1 「市民センターの概要」 ◎講話 2 「学校との連携について」 ◎講話 3 「市民参画型事業について」 ◎講話 4 「ジュニアリーダー育成支援について」 ◎講話 5 「職員研修について」 以上、生涯学習支援センター職員 ◎講話 6 「新任職員への期待」 東北学院大学 教授 水谷 修 氏</p>	44

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
応用研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	<p>◇ファシリテーション研修（応用編）【全2回】</p> <p><第1回> 12/23（木）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ソーシャル・ファシリテーション、 お悩み解決セッション（前編）」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏</p>	8
		<p><第2回> 1/20（木）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「お悩み解決セッション（後編）」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏</p>	9
応用研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	<p>◇講座企画研修（基礎）【全1回】</p> <p>6/11（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 尚絅学院大学 教授 松田 道雄 氏</p>	15
応用研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	<p>◇講座企画研修（応用）【全2回】</p> <p><第1回> ※電話等による個別相談型研修に変更して実施 尚絅学院大学 教授 松田 道雄 氏</p>	12
		<p><第2回> 11/18（木）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 尚絅学院大学 教授 松田 道雄 氏</p>	12
応用研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 	<p>◇広報企画研修【全1回】</p> <p>9/17（金）14:00～17:00 ◎講話とグループワーク 「効果的な情報発信について」 仙台市市民活動サポートセンター 副センター長 松村 翔子 氏</p>	21
社会教育研修	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習支援センター、各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等教育局職員 	<p>◇社会教育推進研修【全1回】</p> <p>6/9（水）14:15～17:15 【講師のみオンライン】 ◎講話 「これからの社会教育主事に求められるもの ～生涯学習支援の在り方～」 学校法人文教大学学園 理事長 野島 正也 氏 ◎グループワーク</p>	18

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
社会教育 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・地域連携担当教員 ・嘱託社会教育主事 ・関係課職員・関係教員 	<p>◇学校との連携・協働研修【全1回】 10/22（金）14:00～16:45</p> <p>◎講話1 「仙台版コミュニティ・スクール」について 仙台市教育局学びの連携推進室 主任指導主事 西城 祐子 氏</p> <p>◎講話2 「大人がチームになるために～コミュニティ・スクールにおける学びの支援者の役割～」 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏</p> <p>◎グループワーク</p>	143
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民 	<p>◇学びの還元（ボランティア）研修【全1回】 12/10（金）14:00～17:00</p> <p>「東口ガイドボランティアの活動を知る！」</p> <p>◎講話 「東口ガイドボランティアの活動について」 東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」 久保 一 氏</p> <p>榴ヶ岡市民センター 館長 大橋 年男 氏 職員 加藤 多恵子 氏 職員 前田 早紀 氏</p> <p>◎体験学習 「東口まち歩き」</p> <p>◎グループワーク</p>	27

（2）学びの還元（ボランティア）研修

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

※職員研修・発展研修としても位置付ける。

受講対象	概要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民（生涯学習ボランティア等） 	<p>12/10（金）14:00～17:00</p> <p>◎講話「東口ガイドボランティアの活動について」</p> <p>◎体験学習 「東口まち歩き」</p> <p>◎グループワーク 東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」 久保 一 氏</p> <p>榴ヶ岡市民センター 館長 大橋 年男 氏 職員 加藤 多恵子 氏 職員 前田 早紀 氏</p>	27

(3) 地域コーディネーター研修

<生涯学習支援センター>

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

受講対象	概要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業，放課後子ども教室事業，図書室等開放事業，社会学級，学コミ事業の関係者 ・PTA関係者，学校教員，児童館職員 ・市民センター職員 ・その他 	<p>◇第1回「地域コーディネーター研修会」 11/12（金）13:30～16:30</p> <p>◎事例発表 「コミュニティ・スクールで学校を核にした地域づくり」 仙台市立生出小学校 校長 石垣 恵 氏 地域学校協働活動推進員 太田 孝 氏</p> <p>◎グループワーク</p> <p>◎助言 国立大学法人 宮城教育大学 学長付特任教授 野澤 令照 氏</p> <p>※参加対象者の日常の取組を更に豊かにするきっかけになるよう事前アンケートを行い、「おらほのイチオシ！」と題した冊子にまとめ、配布した。</p>	101
	<p>◇第2回「地域コーディネーター研修会」 2/19（土）13:30～16:30</p> <p>※オンライン形式及び仙台市市民センターチャンネル（YouTube）を用いたオンデマンド形式での開催に変更して実施</p> <p>◎事例紹介 「高森小コミュニティ・スクールについて」 仙台市立高森小学校長 阿部 淳一 氏 仙台市立高森小学校 学校支援地域本部スーパーバイザー 横山 倫子 氏</p> <p>◎講評・講話 国立大学法人宮城教育大学 学長付特任教授 野澤 令照 氏</p> <p>※地域コーディネーター研修会企画員会 研修会の方向性や内容の検討（全5回 延参加者53名） ①5/13（木）13:30～17:00，②7/21（水）15:00～17:15， ③10/27（水）15:00～17:00，④12/14（火）15:00～17:30， ⑤3/8（火）15:00～17:30</p>	84

(4) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

〈生涯学習支援センター・各区中央市民センター〉

子育て中の保護者が安心して学習できるよう、市民センターでは託児付きの講座を設けている（令和3年度実績：9事業）。

託児は、ボランティアグループによる主体的な運営を基本としている。そのため、託児ボランティアグループの活動を支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成のための養成講座を実施している。

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア連絡会	6/1(火) 10/27(水) 3/1(火)	市民センターで活動する託児ボランティアグループの代表者等と意見交換を行うため、連絡会を開催した。	23
託児ボランティア養成講座	8/25(水) 9/15(水) 9/29(水) 10/6(水) 10:00～ 11:30	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学ぶ講座（全4回）を実施した。 ① オリエンテーション「託児ボランティアとは」 ② 講話「子どもを取り巻く環境①」 長命ヶ丘保育所 総括主任 丹野敦子 氏 ③ 講話「子どもの病気と怪我」 若林区家庭健康課 榎尾絵梨 氏 ④ 話し合い・実技等「これからの活動に向けて」 ※ 9/8(水)に保育所見学を予定していたが、まん延防止法重点措置の発令により、保育所における講座・見学等が当面休止となったため、開催を中止した。	8
託児ボランティアフォローアップ研修	10/27(水) 10:00～ 11:30	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 講話「子どもの応急処置」 宮城野消防署 警防課 救急係 係長 三浦広志 氏	24

【託児ボランティアグループ一覧】（令和4年3月現在）

グループ名	設立年月	主な活動区域（区域以外での活動も有り）	会員数
にんじん	S59.7	宮城野区	5
たんぼぼ	H3	太白区	9
アリスの会	H5.7	若林区	4
託児ボランティアグループ てっての会	H6.4	青葉区, 泉区	6
クリップ	H9.4	市内全般	6
ひまわり	H9.8	青葉区, 泉区	7
でんでんむし	H12.3	太白区	9
さくらんぼ	H14.5	青葉区, 若林区, 泉区	6
ハイジ	H22.4	若林区	4
合計 9グループ / 会員数 56名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

33館の市民センターでは、市民センター併設の図書室等において市民ボランティアの協力により図書の貸し出しや選書等の運営を行っている。

【図書ボランティア一覧】（令和4年3月現在）

	グループ名	活動館	会員数
1	まったりお茶の間文庫	青葉区中央市民センター	6
2	さくらさくら	北山市民センター	12
3	カンナの会	福沢市民センター	10
4	ぼけっと	三本松市民センター	6
5	片平市民センター・児童館図書ボランティア	片平市民センター	5
6	(グループ名なし)	水の森市民センター	14
7	図書ボランティア「ひまわり」	貝ヶ森市民センター	8
8	(グループ名なし)	中山市民センター	4
9	木町通児童館図書ボランティア	木町通市民センター	9
10	図書ボランティアコスモス文庫	大沢市民センター	12
11	葉の会	落合市民センター	12
12	たんぽぽ	吉成市民センター	10
13	かすみそう	高砂市民センター	4
14	しおりの会	岩切市民センター	11
15	もくれんの会	鶴ヶ谷市民センター	14
16	ターンぽっぽ	東部市民センター	5
17	ひまわり	幸町市民センター	9
18	おはなし会ひだまり	福室市民センター	6
19	(グループ名なし)	七郷市民センター	8
20	わかば	荒町市民センター	7
21	(グループ名なし)	沖野市民センター	8
22	(グループ名なし)	生出市民センター	5
23	ブックスフレンド中田	中田市民センター	13
24	(グループ名なし)	西多賀市民センター	3
25	図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	7
26	八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	25
27	図書ボランティア縄文	山田市民センター	8
28	茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	10
29	(グループ名なし)	東中田市民センター	2
30	ブックポケット	柳生市民センター	13
31	富沢市民センター図書室ボランティアの会	富沢市民センター	14
32	(グループ名なし)	松森市民センター	6
33	図書ボランティア「虹」	南中山市民センター	8
ボランティア数計 294 名			

(5) 実習受入

○社会教育実習生

東北学院大学、宮城教育大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として生涯学習支援センター及び各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

- a. 施設実習 令和3年8月31日（火）～9月5日（日）（オンラインで実施）
- b. 講座実習 令和3年9月上旬～11月下旬
- c. 実習報告 令和4年2月18日（金）

実習生 東北学院大学1名(a. c)、宮城教育大学6名(a.), 東北福祉大学2名(a.)
東北芸術工科大学2名(a. b)

○大学生施設見学（生涯学習支援センター）

大学の授業の一環として施設見学を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

聖和学園短期大学……約40名

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供している。

≪生涯学習支援センターの受入実績 小学校（1校8名）中学校（2校7名）≫

【中学校職場体験】

仙台市立高砂中学校 ……4名

仙台市立中野中学校 ……3名

【仙台市立榴岡小学校】

第4・5学年総合的な学習の時間「弟子入り留学」… 8名

※各区中央市民センター（拠点館）においても、同様に児童・生徒の職場体験実習を受け入れている。

4 ジュニアリーダー

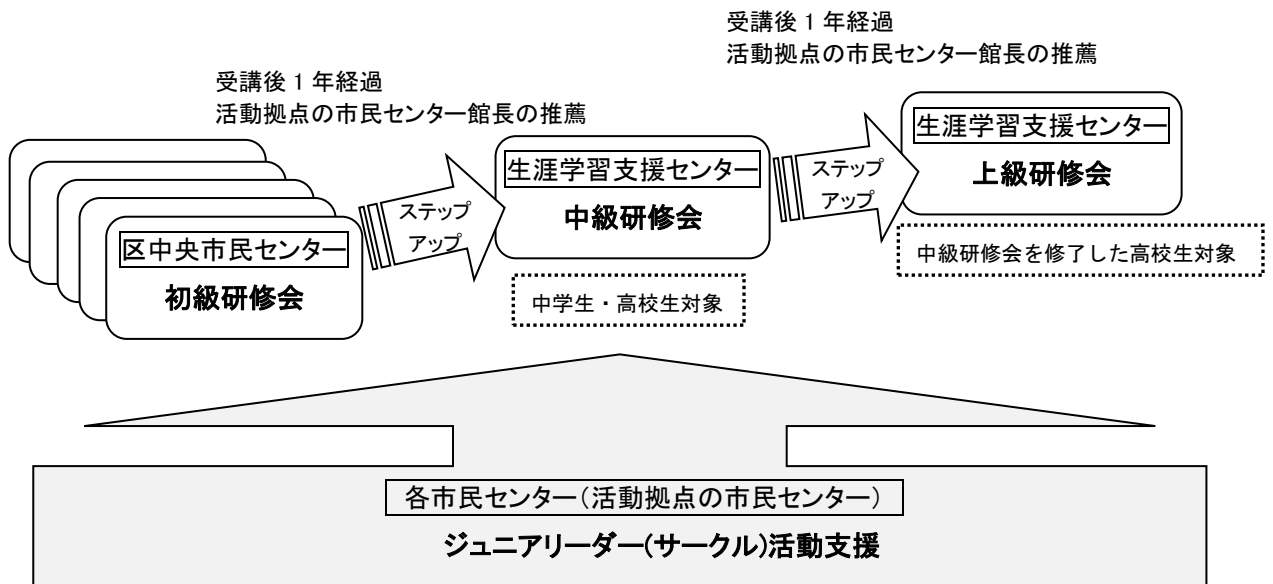
ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、地域の市民センターを拠点とするサークルに所属し活動する中学生・高校生のことであり、地域の子ども会活動のお手伝いや様々なボランティア活動に積極的に取り組んでおり、自身の人格形成にも生かされている。

ジュニアリーダー育成支援は、社会教育における“青少年の健全育成”，また，“学びを通じた人づくり”の一環として位置づけられる重要な事業である。仙台市生涯学習支援センターおよび各区中央市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、下図の通り段階的に研修会を開き、ジュニアリーダー活動に必要な知識や技能を習得する場を提供している。また、活動拠点となる地区市民センターでは、ジュニアリーダーが幅広い視野や責任を持って地域での活動を行えるよう支援を行っている。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)、定例研修会及び連絡会、各種研修会の実施
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・区民まつりへの参加
 - ・市民センター事業への補助
 - ・児童館行事のスタッフ 等



○ジュニアリーダー初級研修会

＜区中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会支部）

ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心にした内容の研修を各区で実施した。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

研修内容：「ジュニアリーダーの活動について」、「子ども会について」、
「安全に活動するために」等

【令和3年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月4日(日)	31
宮城野区中央市民センター	11月20日(土)	5
若林区中央市民センター	12月12日(日)	26
太白区中央市民センター	8月4日(水)	13
泉区中央市民センター	11月20日(土)	28

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

活動の中心となるジュニアリーダーとして、より専門的な知識と高度な技術の習得を中心とした内容の研修を実施した。対象者は、「初級研修会を受講し、ジュニアリーダーとして活動を行っている中高校生」で、かつ、「子ども対象の活動に5回以上参加し、活動拠点となる市民センターの館長の推薦を受けた者」とした。

○37名受講 12月4日(土) 会場：仙台市生涯学習支援センター

研修内容：「今、ジュニアリーダーに必要なものとは？」、

「リーダーとして要請の場で必要な力」、「子どもを引き付けるコツとは？」、

「要請のプログラムを作成しよう」、「要請のプログラムを実践しよう」等

※新型コロナウイルス感染症の影響により1日開催とした。

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」、かつ、「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○22名受講 7月24日(土)～25日(日) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館

研修内容：「上級JLとしての役割と心構え」、「有効なPRのために」、「心の開き方」、

「子ども対応スキルアップ」、「コミュニケーションスキルアップ」等

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会を受講したジュニアリーダーが講師となり、ジュニアリーダーとしてのスキルを伝達する研修会を実施した。併せて、5区のジュニアリーダーが交流を深め、幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上を図る場とした。対象者は、「仙台市ジュニアリーダー全登録者」である。

○51名受講 12月5日(日) 会場：仙台市生涯学習支援センター

研修内容：「自分と仲間を知ろう」、「自分の強みを知ろう①～③」、「今後の自分について考えよう」等

※例年はオーエンス泉岳自然ふれあい館を会場に1泊2日で実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場を変更し、1日開催とした。

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(令和4年3月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区 (94名) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVC くまっこ	34	広瀬市民センター
	2	かめ吉	9	福沢市民センター
	3	朝実巢あかよばく	7	北山市民センター
	4	Colors	2	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	18	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	5	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	19	青葉区中央市民センター
宮城野区 (52名) 連絡会『Lovers』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	6	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	11	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	0	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	9	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	26	宮城野区中央市民センター
若林区 (54名) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	2	七郷市民センター
	2	六郷村	0	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	28	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	13	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	9	若林市民センター
太白区 (50名) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	8	中田市民センター
	2	おいでもん	3	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	22	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	15	太白区中央市民センター
	6	moni-s	2	茂庭台市民センター
泉区 (103名) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	七北田 J Lサークルありす	25	泉区中央市民センター
	2	黒松ファミリー	3	黒松市民センター
	3	南光台アドバルーン	16	南光台市民センター
	4	もみの木カリヨン	0	根白石市民センター
	5	向陽台ぱびふぺパレット	0	松陵市民センター
	6	将監くれよん	10	桂市民センター
	7	南中山巣子つぶ	13	南中山市民センター
	8	高森流星サークル	7	高森市民センター
	9	寺岡流星サークル	2	寺岡市民センター
	10	みちのく松陵	7	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	6	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	1	松森市民センター
	13	根住 s	3	根白石市民センター
	14	AMYY	10	長命ヶ丘市民センター
市全体 (35名/38サークル) 仙台市連絡会『ずんだ』(生涯学習支援センター)				

5 地域社会教育推進

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するつながりを地域に育てることを目的として、平成 13 年度に事業を開始。令和 3 年度は、事業委託した 1 団体と 3 年の委託期間が終了した後も自主的に活動を継続している等の 29 団体と合わせて計 30 団体が活動した。

区 分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
委託団体数（うち新規委託団体数）	7(1)	5(3)	5(1)	2(0)	1(0)
委託期間終了後の活動継続団体数	27	28	29	30	29
合計	34	33	34	32	30

《令和 3 年度の委託団体》1 団体

団体名	区	学校区	ねらい・概要	委託状況
プロジェクト北三	青葉	木町通小	北三番丁公園をフィールドに地域貢献活動を行っていた「こよなく北三番丁公園を愛する会」が中心となり、「木町通小学校おやじの会」「木町通小学校」「木町通市民センター・児童館」と連携して児童の健全育成に向けた事業（北三番丁公園に集おうなど）を展開している。	3 年目

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体、委託を休止中の団体》 31 団体

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
1	榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	東華中 宮城野中	平成 15
2	ながまち学びネット推進委員会	太白区	長町中	〃
3	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	七北田中	平成 16
4	松陵っ子、土っと来い！	泉区	泉松陵小	〃
5	かみすぎねっと	青葉区	上杉山通小	平成 18
6	パパネット南小泉推進委員会	若林区	南小泉小	平成 19
7	まなこみネット鶴が森 II	泉区	鶴が丘中	平成 21
8	将監こども楽校推進委員会	泉区	将監小	平成 22
9	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	旭丘小	平成 23
10	上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	上愛子小	〃
11	「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	西山小	〃
12	通学合宿連坊実行委員会	若林区	連坊小路小	〃
13	まなびネット「いずみ中山」	泉区	南中山中	〃
14	五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	五城中	平成 24
15	福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	福室小	〃
16	「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	秋保中	〃
17	カモンレインボープラン推進委員会	泉区	加茂中	〃
18	おいで里ネット	太白区	生出中	平成 25
19	川平学びのミュージアム	青葉区	川平小	平成 26
20	学びのコミュニティ～東中田復興プロジェクト かっこ和太鼓隊～	太白区	袋原中	平成 27

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
21	ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	長命ヶ丘中	〃
22	山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	山田中	平成 28
23	森の応援団 愛子ハグリズ	青葉区	愛子小 錦丘小	平成 29
24	楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	金剛沢小	〃
25	坪沼スポーツ振興会	太白区	生出小学校 区の一部	〃
26	未来っこ桂	泉区	桂小	〃
27	田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	田子小	平成 30
28	八木山おやじの会	太白区	八木山小	令和元
29	東仙台小学区学コミ推進委員会	宮城野区	東仙台小	令和 2 年
30	幸町おやじの会	宮城野区	幸町小	※
31	大和学びのコミュニティ推進委員会	若林区	大和小	※

※幸町おやじの会と大和学びのコミュニティ推進委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2～3 年度は委託を休止した。

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

○実施団体連絡会

＜生涯学習支援センター＞

委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 29 団体を含めた、事業実施団体連絡会による研修会を書面により開催し、団体相互の情報共有を図った。

開催日	内 容	受講者
2.26(土) 13:30～15:30 【中止】 →書面による 開催に変更	事例発表「コロナ禍での取組と今後の展望」 (1) 榴岡かいわい学コミ推進委員会 委員長 齋藤 孝志 氏 (2) プロジェクト北三 委員長 庄子 勇 氏、宮澤 啓一 氏 (3) 学びのコミュニティ～東中田復興プロジェクト かにかっこ和太鼓隊～ 事務局長 小岩 孝子 氏	

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
かみすぎねっと (No.6)	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・5月24日 第1回幹事会 ・7月24日 学校へ泊まろう	1 1	31 27

	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ (No.10)	旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 (6月 推進委員会) (7月～11月 ファーム事業) (8月2日～4日 お琴体験教室) (8月18日～24日 ラジオ体操&ぴよんぴよんタイム) ほか	1	-
宮城野区中央市民センター				
	榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業 (No.2)	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図る。 ・12月18日第14回つつじがおかワイワイ冬まつり	1	230
若林区中央市民センター				
	区内小学校合宿等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援する。※令和3年度は中止	0	0
	若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動(概ね月1回開催)を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援する。※令和3年度は中止	0	0

太白区中央市民センター			
ながまち学 びネット (No.3)	長町中学校区の児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行うことを通して、地域のコミュニティ形成と連携した地域づくりを目指す。 令和3年11月13日(火) コアメンバー会議 令和4年 3月5日(土) 森の響き 焚火と星編 (地底の森ミュージアムにて大人中心のプレイベント)	1 1	6 20
がんばれ秋 保っ子 (No.17)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで、地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくることを目的とし、事業開催に向けて話し合いを行う。※令和3年度は中止	0	0
おいで里ネ ット (No.19)	おいで里ネット推進委員会の意向で、中学生の有志による企画員会議を開催し、企画案を実現させる形でイベントを実施していたが、コロナ禍の対応で令和3年度は推進委員会が企画することになった。 「フライハイおいで！するめ天旗 たこあげ大会」開催に向けて話し合い・準備を行ってきたが、開催直前に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 【市民企画会議「おいで里ネット委員会」全5回】 令和3年5月21日、10月6日、11月10日、 12月8日、1月18日	5	50
泉区中央市民センター			
区内学コミ 連絡会	区内で活動している各学コミ団体と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図っている。 令和3年度はコロナ禍につき対面での集まりを中止。各団体代表者に電話やメールで近況を確認し泉区HPでの情報共有を行った。	適宜	
ふれあい学 びネット い・ず・み推 進委員会 (No.4)	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施している。 ・役員会(6月15日*9人,12月7日*9人) ・推進委員会(6月29日*22人,2月22日*8人) コロナ禍の状況を踏まえ、事業の中止を決定	2 2	18 30

(3) 地域情報発信サポーター養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

○地域情報発信サポーター養成講座

地域情報発信サポーターを養成するための連続4回の講座を行った。

回	開催日	内 容	受講者
1	9/25(土) 10:00~12:00	「地域の魅力の見つけ方」 講師：TOHOKU360 編集長 安藤 歩美 氏	13
2	10/2(土) 10:00~12:00	「インスタグラムで情報発信！1~インスタグラムの使い方~」 講師：サカシタネットデザイン 坂下 宏 氏	13
3	10/16(土) 10:00~12:00	「インスタグラムで情報発信！2~写真撮影会~」 講師：サカシタネットデザイン 坂下 宏 氏	7
4	10/23(土) 10:00~12:00	「地域の魅力を発信しよう！」 講師：TOHOKU360 編集長 安藤 歩美 氏	10

○地域情報発信サポーター活動支援

今年度の養成講座の修了者が自主サークル「見てけらいん」仙台」を結成し、Instagramにおいて共通のハッシュタグを使用した情報発信を行った。

平成 28 年度の養成講座の修了者による自主サークル「仙台おもしろ発見隊」については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動は行われなかった。

6 学習情報提供

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営等 ＜生涯学習支援センター＞

学習情報レファレンスシステムは、市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターとをネットワークで結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的に運営している。

平成 26 年 11 月にシステム更新を行い、「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始して、生涯学習情報の発信と蓄積を一体的に行うほか、新たなホームページでは、各市民センターの情報を集約・統合して発信する等、市民にとってより検索しやすく、分かりやすいページ構成とした。また、スマートフォン・タブレット等でも閲覧可能なホームページとなっている。

令和 2 年 2 月からは、動画が公開できるよう YouTube 上に「仙台市市民センターチャンネル」を開設し、市民センターホームページに設けたリンクからアクセスして、講座や事業の様子を紹介する動画等を閲覧できるようにした。令和 4 年 3 月末現在、87 本の動画を公開している。

【令和 3 年度 市民センターホームページアクセス件数】

アクセス件数	990,542	一日あたりの閲覧数	2,714
閲覧者数	764,666	一日あたりの訪問者数	2,095

【市民センターホームページURL <https://www.sendai-shimincenter.jp/>】



(2) 市民センター事業ガイド

<各区中央市民センター・生涯学習支援センター>

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月1回発行して，市民への情報提供を行った。市民センターホームページでも公開している。

(3) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援等

<生涯学習支援センター>

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成18年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について，市民が円滑に講座を受講できるよう，広報及び情報提供等の支援を行った。

7 各区中央市民センター事業

(1) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月23日 青葉区社会教育推進研修会 7月4日 ジュニアリーダー初級研修会 10月23日 「青葉チャレンジキッズ in 大倉」 2月19日 インリーダー研修会 11会場 【オンライン開催】	5	475
宮城野区中央市民センター	5月～2月 宮城野区社会教育推進連絡会・事業検討会（4回） 6月23日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会 8月 インリーダー研修会 9会場 【対面開催7館，オンデマンド開催2館】 10月23日 体験活動事業「貞山堀でハゼゲットだぜ！」 11月20日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会	16	323
若林区中央市民センター	8月3日，11月3日 若林区地域学校連携推進会議 10月23日 親子でチャレンジ！若林デイキャンプ 12月12日 ジュニアリーダー初級研修会 1月27日～2月27日 インリーダー研修会 【YouTube視聴によるオンデマンド開催】	2 1 1 1	70 34 26 242
太白区中央市民センター	6月25日 第1回地域連携ネットワーク会議 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 【各中学校区で事業実施】 8月4日 ジュニアリーダー初級研修会 12月4日 インリーダー研修会事前打合せ会【中止】 1月～2月 インリーダー研修会 【DVD配付による自主研修】 1月25日 第2回地域連携ネットワーク会議 【YouTube視聴による自主研修】	17	3,052
泉区中央市民センター	9月～2月 泉区の世界教育を考える会（4回 他役員会1回） 6月24日 泉区の世界と学校をつなぐ研修会 11月20日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 7月～2月 インリーダー研修会 （研修会7か所中5か所で10名が講師担当） 12月11日 第1回みんなでジャンプ！2	13	399

(2) インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施している。令和3年度は、例年通り対面で実施できた館もあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テキスト配付、研修内容を記録したDVDの配付、YouTube視聴によるオンデマンドなどに代えて実施した館もあった。

【令和3年度実績】

区	開催状況
青葉区	オンラインでの開催 (365名申込, 244名にテキスト配付, 児童126名に修了証授与)
宮城野区	R3年度夏に実施(対面開催7館, オンデマンド開催2館) 275名
若林区	YouTube視聴によるオンデマンド開催(242名参加)
太白区	自主研修(452組にテキストと自作オリジナルDVD配付)
泉区	7回開催, 177名参加

(3) 生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞(事業検討4回, 役員会1回実施 延参加者: 55名)

区内の社会教育について、嘱託社会教育主事研究協議会泉区部会と協働で、既存の事業の見直しや、新たな事業の企画を行った。また、それら事業を実施検証し、泉区の社会教育事業の新たな展開の可能性を探り、活性化につなげた。

(4) その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区 中央市民 センター	子どものための 日本語講座	日本語を母語としない小学生, 中学生に日本語を学習する機会を提供し, 充実した学校生活を送れるように支援している。	25	265
	せんだい日本語 講座	在仙の外国人等に, 日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに, 日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで, 国際交流や多文化理解を促進している。	573	2,986
宮城野区 中央市民 センター	青空ミーティン グ事業	宮城野区中央市民センターと宮城野区役所, JR陸前原ノ町駅に囲まれた芝生スペースを活用し, 学びや交流, 活動の場を広げることで, 市民センター事業の見える化を図る。これまでモルック交流会や, 竹ランタンをつくったり, おもちゃで遊んだりするイベントを開催してきた。地域活動団体の定期的な活動場所として使用し, 団体相互のつながりを築くとともに, 地域の新たな人材育成の場としていく。	8	105

若林区 中央市民 センター	まなびごっこ	若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（音楽鑑賞会、映画上映会など8種類）を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染拡大期を除いた開催となった。	54	721
太白区 中央市民 センター	長町・あすと長町 地域活性化事業	地域振興団体が主催するイベント「長町秋のフェスティバル」の企画運営等の支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、関係団体間の交流や協議の場づくり等の支援を行った。	4	31

8 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は13人で、任期は令和3年11月1日から令和5年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [令和4年3月31日現在]

氏名	職業または所属団体
○ 相澤 雅子	仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部スーパーバイザー
市瀬 智紀	宮城教育大学教育学部 教授
伊藤 美由紀	東北工業大学ライフデザイン学部 准教授
大内 幸子	せんだい女性防災リーダーネットワーク 代表
幾世橋 広子	仙台市社会学級研究会 顧問
熊谷 敬子	仙台市立岡田小学校 校長
佐藤 正実	有限会社イーピー風の時編集部 代表取締役
菅原 正和	仙台市議会 議員
鈴木 京子	公募委員
福士 定男	仙台市連合町内会長会 庶務理事
牧 靖子	マイスクール川平 コーディネーター
◎ 松田 道雄	尚綱学院大学人文社会学類 教授
三浦 和美	東北福祉大学教育学部 教授

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～令和3年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞(梨本雄太郎委員) ＜区行政との「融合」をめぐる＞(石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 —仙台プラン—	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを生かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見
平成 29 年 3 月 23 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
平成 29 年 10 月 23 日	意見	仙台市市民センター事業評価に関する意見について	1 事業評価について 2 事業運営懇話会等について

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成30年 11月8日	報告	仙台市市民センター事業評価報告	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
令和元年 7月4日	答申	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について	<見直しのあり方に関する意見> 1 拠点館の役割の再検討及び記載の明確化について 2 「震災を踏まえた市民センターの役割と取組」の記載事項の内容・構成の再検討 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」の記載事項の内容・構成の再検討 4 全体、他の項目への意見等
令和2年 11月5日	意見	今後の市民センター事業に関する意見について	<新型コロナウイルス感染症との共生時代の市民センター事業に関する意見> 1 オンラインと対面(リアル)のバランスについて 2 子どもの育ち・交流・体験の場となることについて 3 記録を残すことについて 4 グループ討議を踏まえた意見など
令和3年 10月28日	報告	仙台市市民センター事業(子ども参画型社会創造支援事業)調査研究報告書	I 調査研究について II 対象事業について III 調査研究の進め方について IV 事業評価について V まとめ

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
令和3年 11月11日(木)	定例会	○委嘱状交付式 ○会長、副会長選出 諮問：「住民参画型学習事業の成果の確認と今後の展開について」 協議：(1)会議の公開、非公開について (2)議事録及び署名人について (3)公民館運営審議会定例会の日程について 報告：(1)仙台市公民館運営審議会について (2)仙台市市民センターの概要について ①仙台市市民センターの施設理念と運営方針 ②市民センターの事業概要
令和4年 3月15日(火)	定例会	(1)今後の日程について (2)住民参画型学習事業の概要について 協議：(3)子ども参画型社会創造支援事業について ○事業の成果と課題について ○事例：ぼくらの長町黄援隊！(太白区中央市民センター)

※令和4年1月27日(木)に開催を予定していた定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。

